

令和7年度 学校関係者評価

旭市立第一中学校

1 学校教育目標

「夢や希望を持ち、自己実現に向けて自ら学び続ける生徒の育成」

学校関係者評価委員
(学校運営協議会委員)

2 本年度の重点化された具体的な目標

- ① 夢や希望を育む生徒
- ② 自己実現に向けて学び続ける生徒
- ③ 新しい時代で活躍するために必要とされる資質・能力を身に付けている生徒
- ④ 教育に情熱と誇りを持ち、生徒理解に努める教職員
- ⑤ 教育へのやりがいを持ち、社会人としてのロールモデルとなる教職員
- ⑥ 探究心を持ち自律的に学ぶ教職員
- ⑦ 生徒が安心・安全に通える信頼のある学校
- ⑧ 教職員がそれぞれの持ち味を生かし、学校経営に参画している学校
- ⑨ 教職員のウェルビーイングが高まる学校

- 地域コーディネーター
- 元PTA会長
- 元PTA会員
- PTA会長
- 校長
- 教頭
- 教務

3 自己評価結果に対する学校関係者の評価・意見等

学校による自己評価の評価基準 : A(満足できる:肯定的評価90%以上)、B(ほぼ満足できる:肯定的評価70~89%)
C(やや努力が必要である:肯定的評価50~69%)、D(努力が必要である:49%以下)

学校関係者評価の評価基準 : A(適切な評価である)、B(ほぼ適切な評価である)、C(やや不適切な評価である)、D(不適切な評価である)

分野・領域	評価項目	評価の指標 (%)	自己評価	考察と改善に向けた取組	学校関係者評価	
					自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ
学校運営 教育課程	保: 子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	85	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全校生徒が「学校に行くことを楽しみにしている」ことを目指して、日々の教育活動に務めている。一方で不登校傾向にある生徒にも引き続き支援を行っていく必要があり、関係機関との連携を深めていきたい。 ・ 生徒は、様々な悩みや問題を抱えている生徒も多く、担任だけではなく、スクールカウンセラーや関係機関と連携して、不登校改善に繋げている。 ・ 学校行事の日程については、保護者と職員側との数値に差がある。働き方改革の視点から、行事の縮小や改善を考える必要性があると考える。しかし、体験的活動や行事を通じて得るものは、たくさんあるので無くすより、縮小化や工夫をしながら計画していきたい。 	A	A
	職: 生徒の多くは学校に行くのを楽しみにしている。	82	B			
	保: 学校行事の日程は適切であり、充実し有意義なものになっている	95	A			
	職: 学校行事の日程は適切であり、充実し有意義なものになっている	76	B			
	保: 学校は、経営方針や教育目標の実現に向けて学校全体で取り組んでいますか。	93	A			
	職: 経営方針や教育目標を意識し、その実現に向けて取り組んでいる。	94	A			
	保: 学校は経営方針をわかりやすく伝えている。	91	A			
	職: 学校は説明責任を果たし、保護者が安心して生徒をあずけることができている。	100	A			
学校関係者による 意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「学校へ行くのを楽しみにしている」肯定的な評価が多いが、欠席が多い生徒の減少、改善に繋げるための改善策や取組が課題となっている。 ・ 学校の経営方針や、教育目標については、学校運営協議会やホームページ等を通じて情報を得ることができている。 ・ 生徒数の減少に伴い、行事の見直しも必要となる。行事を無くさず、工夫して縮小化を図りながら実施する方向で進めてほしい。 					
学習指導	保: 学校は、わかる授業を心がけ、生徒の学力向上に努めている。	81	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の授業については、授業改善やICTを活用しながら授業を進めている一方、学力向上に繋がっていない。 ・ 今年度は、「読解力の向上」につながる取組として、週に一回「音読」の時間を設けて取り組んだ。すぐに結果が出るものではないが、学力の基礎となる部分なので次年度も継続して取り組み。 ・ 家庭学習の習慣が身につけていない生徒が多い実態である。面談等を通じて、一人一人にあった学習方策を授けることを徹底したい。 ・ 各教科毎に毎日の家庭学習に取り組んでいるが、内容や習熟度に個人差がある。家庭学習のやり方は、個々に異なるため生徒一人一人に合った家庭学習の進め方をきめ細かく指導していきたい。また、家庭との連携も必要となるため、保護者会や学校だより、学年だより等をとおして、発信していきたい。 ・ 特別な配慮や支援が必要な生徒に対して、テストや配布物の工夫や、ユニバーサルデザインを意識した取り組みを進めている。また、特別な配慮は全生徒に行うものであるため、今後もいろいろな視点で、大勢の目で確認しながら教育活動を進めていきたい。 	B	A
	職: わかる授業を実践し生徒の学力向上を目指すとともに、研究主題を意識し研究を進めている。	94	A			
	保: 学校は、家庭(自主)学習の習慣が身につくように支援している。子どもは家庭学習の習慣がついている。	80	B			
	職: 一人一人の課題を見極め、家庭(自主)学習の習慣が身につくように支援している。	71	B			
	保: 学校は子どもの自己実現に向けた支援や、進路指導を適切に行っている。	87	B			
	職: 生徒の自己実現に向けた支援や進路指導を適切に行っている。	88	B			
	保: 学校は、特別な配慮や支援が必要な生徒に適切な指導、支援を行っている。	80	B			
	職: 特別な配慮や支援が必要な生徒に適切な指導、支援を行っている。	94	A			
学校関係者による 意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭学習の取組について、肯定的評価が低い。特に職員の評価が低いのが気になる。 ・ 高校、大学受験に、中学校で身に付けた学力や習慣、各種検定への取組がきている。 					
生徒指導	保: 子どもは、明るい挨拶、しっかりとした返事ができている。	95	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明るく元気な挨拶ができる生徒が多く、保護者、職員共に肯定的な数値が出ている。 ・ 基本的な生活習慣の改善が必要な生徒がいるので、教育活動のあらゆる場面で指導し、養護教諭や家庭とも連携しながら進めていきたい。 ・ 生徒アンケートではスマホ等をつうじてインターネットに触れ時間を調査したところ、1日4時間以上が25%いる。使い方を考える時間を確保するとともに、家庭との連携を行っていく。 ・ 月始めの問題行動調査(アンケート)やセクハラ・体罰アンケートを定期的に行い、即対応している。担任一人の目で見るとはならず、職員全員で生徒一人一人を見るつもりで、個々を大切にしている。 	A	A
	職: 生徒は、明るい挨拶、しっかりとした返事ができている。	94	A			
	保: 学校は、生活習慣の改善を促し、健康管理や体力の向上に努めている。	95	A			
	職: 生徒の健康管理や体力の向上に目を向けるとともに、生活習慣の改善に向けた指導を行っている。	94	A			
	保: 教職員は子どもの理解に努め、適切な指導・助言を行っている。	92	A			
	職: 生徒理解に努め、一人一人に対して適切な指導・助言を行っている。	94	A			
学校関係者による 意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日頃から職員と生徒の良い関係が築けているのがわかる。 					

道徳 人権教育	保: 学校は基本的な生活態度の向上、いじめや不登校の解消等に努めている。	88	B	A	・生徒一人一人を大切に思い、休み時間や放課後等も生徒に向き合う時間を作っている。昼休みは、教室にいる生徒につく職員とグラウンドや体育館で遊んでいる生徒につく等、役割分担もできている。 ・道徳の授業では、担任が授業を行うのではなく、副担任や学年職員でローテーションをしながら、授業を実施している。そのため、いろいろな職員の経験談や価値観について話を聞く機会が増え、生徒の豊かな心の育成につながっている。	A	A
	職: いじめや不登校の問題の解消および生活態度の向上に向け連携して取り組んでいる。	94	A				
	保: 学校は、生徒の豊かな心の育成に努めている。	90	A				
	職: 道徳の授業を基盤とし学校生活のあらゆる場面で、生徒の豊かな心の育成に努めている。	76	B				
	保: 学校は、人権を尊重した指導を行い、旭一中生の人間性の向上に努めている。	94	A				
	職: 生徒の人間性向上に努めるとともに、人権意識を持って生徒に接している。	94	A				
学校関係者による 意見等	<p>・職員は豊かな心の育成に努めていると肯定的回答の割合が低いようだが、これには原因があるのか。分析により、改善につながるとよい。</p>						
保健・体育 安全管理	保: 学校は、学ぶ場にふさわしい環境(施設・設備、緑化、掲示等)が整えられている。	96	A	A	・学校は生徒の安全を守ることが第一であるので、生徒が登校してから自宅に到着するまで、安全面への配慮は欠かせない。 ・学校では毎月安全点検を行っている。また、同じ場所でも複数の目で見ることで、さらに施設・設備の環境の変化に気づけるようにしている。破損場所や危険箇所は、すぐに修理や業者に委託して改善している。 ・他の学校で起こることは、自分の学校でも起こると職員に意識させると共に、生徒自身が自分の安全を守れるように、考えさせる指導を心がけていく。	A	A
	職: 施設・設備の維持管理や緑化推進、掲示物作成等、学ぶ場にふさわしい環境づくりに心がけている。	100	A				
	保: 学校は、旭一中生が健康で安全な生活が送れるよう、配慮している。	98	A				
	職: 生徒が健康で安全な生活を送ることができるよう、適切に指導している。	88	B				
	保: 学校は生徒にとって安全で安心して生活できる場所になっている。	95	A				
	職: 学校は生徒にとって安全で安心して生活できる場所になっている。	100	A				
学校関係者による 意見等	<p>・生徒は良い環境の中で、学校生活を送ることができている。</p>						
保護者・ 地域との 関わり	保: 保護者の相談に対して、学校は誠実に対応している。	98	A	A	・保護者からの意見や要望に対して、できる限り応えられるように即対応を心がけている。 ・日頃の生徒の様子や情報が各家庭に伝わるように、学校だよりや、学年だより等とおして、発信している。 ・保護者からの意見を大切にし、改善策については多くの職員の意見を聞きながら、より良い教育活動に繋げていくよう、教育課程検討委員会を実施している。 ・学校運営協議会委員の協力で、技術の授業において協力をいただいた。専門外の職員にとって、ベテランの技術をもった方が協力してくださったことで、専門的な知識を伝達するとともに、多くの目があることでの安全・安心な作業に結びつけることができた。	A	A
	職: 学校は、保護者の相談に対して、誠実に対応している。	100	A				
	保: 学校は、家庭・地域への学校の取組や生徒の様子等、適切な情報を発信している。	95	A				
	職: 学校は、家庭・地域へ、学校の取組や生徒の様子等、適切な情報を配信している。	100	A				
	保: 学校とPTA、地域との連携が図れている。	88	B				
	職: 学校とPTA、地域との連携が図れている。	100	A				
	保: 学校は保護者の意見を参考に考えながら、改善に努めている。	87	B				
	職: 学校は保護者の意見を参考にしながら、改善に努めている。	94	A				
	保: 学校は、保護者が訪問しやすい雰囲気になっている。	97	A				
	職: 学校は、保護者が訪問しやすい雰囲気になっている。	100	A				
学校関係者による 意見等							